

資料	
----	--

# 奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成30年 7月～9月期

見通し：平成30年 10月～12月期

平成30年10月  
奥州商工会議所  
前沢商工会

## 奥州市景気動向調査結果（概要版）

〔実績：平成30年7月～9月期〕  
〔見通し：平成30年10月～12月期〕

「業況DIは、コスト増が足かせとなり3期連続で悪化。

先行きは不透明感が強まり悪化の見通し」

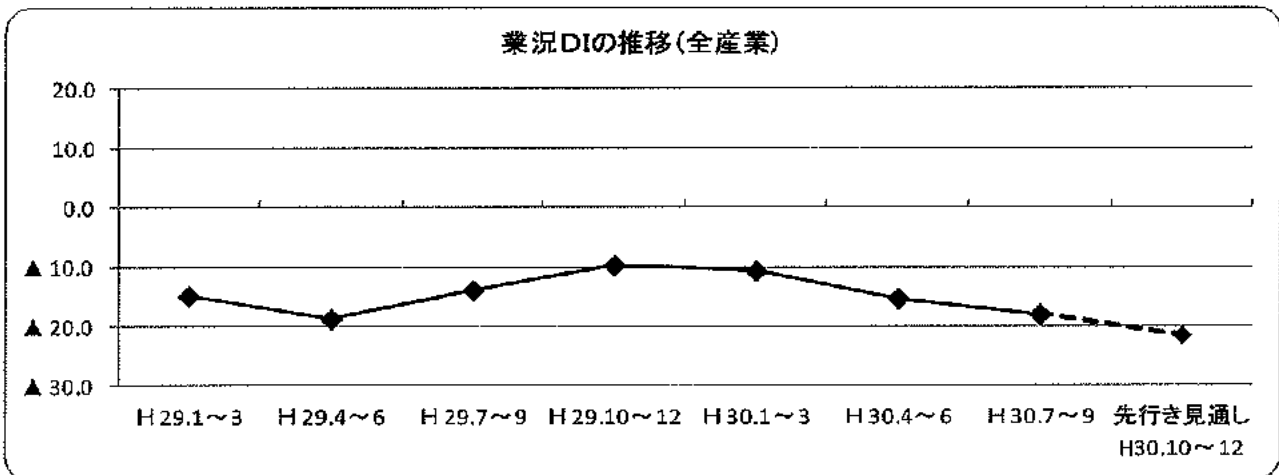
### 【ポイント】

今回調査の全産業の業況DIは、▲18.0と前々回調査より低調に推移しており、H29.10-12月期をピークに下降し続けている。特に人件費・仕入単価の上昇、人手不足による受注の減少などが挙げられた。依然業種間で業況ポイントの幅が大きく開いた状態となっている。

先行き向こう3ヵ月（10月～12月）については、業況DIが▲21.5で悪化の見通しとなった。

※業種別、設問別のDI値一覧表（実績：上段）（見通し：下段）

	業況	売上高	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
全産業	▲ 18.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 11.0	▲ 52.4	32.1
	▲ 21.5	▲ 25.1	▲ 27.8	▲ 14.7	▲ 52.2	32.5
小売業	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 22.0	▲ 44.0	26.7
	▲ 27.1	▲ 41.7	▲ 34.8	▲ 20.8	▲ 47.9	30.2
卸売業	▲ 37.9	▲ 27.6	▲ 31.0	▲ 10.3	▲ 55.2	17.2
	▲ 35.7	▲ 34.5	▲ 39.3	▲ 10.3	▲ 44.8	20.7
製造業	▲ 9.8	▲ 16.0	▲ 21.6	▲ 2.0	▲ 57.1	15.7
	▲ 9.8	▲ 15.7	▲ 17.6	▲ 8.2	▲ 51.0	17.6
建設業	▲ 9.3	▲ 5.4	▲ 14.5	▲ 5.4	▲ 52.7	49.1
	▲ 13.2	▲ 21.8	▲ 25.5	▲ 10.9	▲ 57.4	46.3
サービス業	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 29.2	▲ 14.1	▲ 53.8	40.3
	▲ 26.8	▲ 19.4	▲ 27.8	▲ 19.7	▲ 55.2	38.9



### 【天候の影響について】

天候の影響は、全産業で好影響が4.8%、影響なしが62.1%、悪影響が33.3%の回答となった。産業別に見ると小売業で9.1%が好影響、建設業では45.1%が悪影響と答えた。小売業・卸売業・製造業では前回より好影響の割合が増加した。

### 【設備投資について】

設備投資は26.1%の事業所で行ったと回答があった。業種別では製造業が30.4%、サービス業が27.5%となった。前回比で見ると卸売業が9.1%増加した。

今後設備投資の予定があると答えた事業所は18.8%であった。産業別では製造業が26.0%、サービス業が22.2%となった。前回比で見ると小売業で予定ありと答えた事業所が9.8%増加した。

### 【夏季賞与について】

○夏季賞与を支給した事業所は67.5%となった。産業別で見ると建設業は80.0%、製造業は78.4%が支給したと答えた。サービス業は61.1%、小売業は50.0%に留まった。

## 奥州市景気動向調査結果

平成 30 年 10 月調査結果

「業況 D I は、コスト増が足かせとなり 3 期連続で悪化。

先行きは不透明感が強まり悪化の見通し」

### 【結果のポイント】

今回調査の全産業の業況 D I は、▲18.0 と前回 (▲15.3) より悪化した。前々回調査より依然低調に推移しており、H29.10-12 月期をピークに下降し続けている。特に人件費・仕入単価の上昇、人手不足による受注の減少などが挙げられた。

産業別に見ると小売業・卸売業・製造業は横ばい、建設業・サービス業は悪化となり、依然業種間で業況ポイントの幅が大きく開いた状態となっている。

全産業の売上高・採算・資金繰り・従業員 D I は横ばいであるが、仕入単価 D I は 7.1 ポイント悪化している。

先行き向こう 3 ヶ月 (10 月～12 月) については、業況 D I が▲21.5 で、悪化する見通し。前回と比較すると仕入単価が大きく悪化し、懸念材料となっている。

夏季給与を「支給した」と回答したのは約 7 割の事業所で、特に建設業・製造業は 8 割に上り、小売業は半数に留まった。31 年 4 月の従業員採用予定が「あり」と回答したのは約 3 割で、製造業・建設業は 4 割、小売業・卸売業・サービス業は 2 割の事業所で採用を予定している。

### 調 査 要 領

○調査期間 平成 30 年 10 月 1 日～11 日

○調査対象 奥州市内の事業所から、業種・規模を勘案して抽出した 300 事業所に対してファクシミリによるアンケート調査

○調査項目 平成 30 年 7 月～9 月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等  
※D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

### 調査票回収状況

回答数 259 回収率 86.3% 小売 50 ・卸売 29 ・製造 51 ・建設 56 ・サービス 73

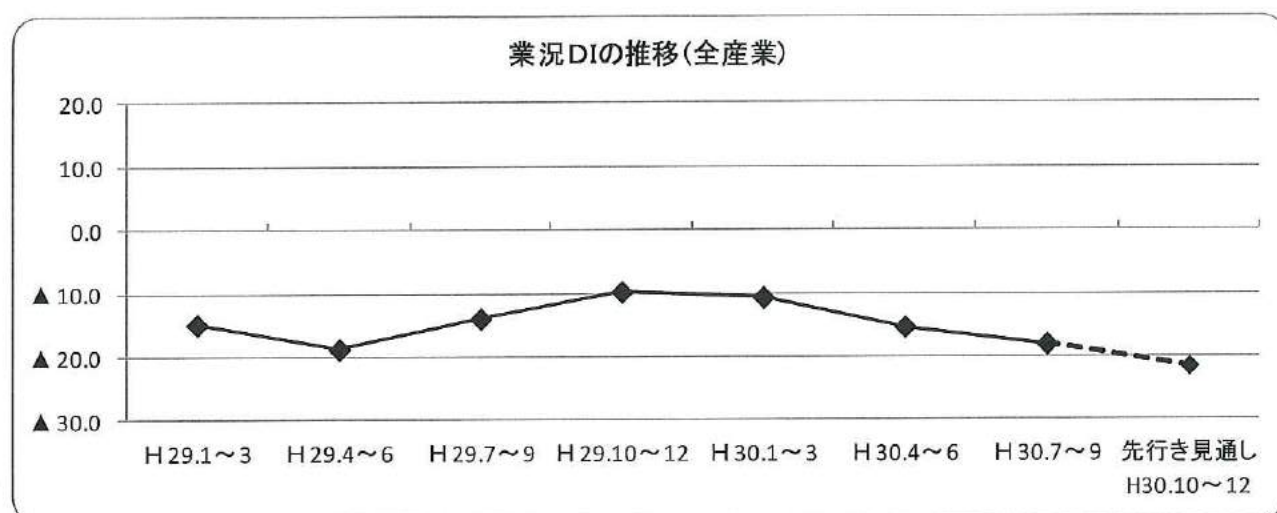
### 【業況についての判断】

○全産業合計の業況DIは▲18.0と、前回(▲15.3)から2.7ポイントの悪化。産業別に見ると小売業・卸売業・製造業は横ばい、建設業・サービス業では数値が悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲21.5と前回(▲17.9)より悪化する見通しとなった。

### ○業況DI(前年同期比)の推移 【全産業】

H29.1~3	H29.4~6	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3	H30.4~6	H30.7~9	先行き見通し H30.10~12
▲ 14.8	▲ 18.7	▲ 13.9	▲ 9.7	▲ 10.6	▲ 15.3	▲ 18.0	▲ 21.5



### ○業況DI(業種別)

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 14.0	➡ ▲ 37.9	➡ ▲ 9.8	➡ ▲ 9.3	➡ ▲ 25.0
前回	▲ 14.9	▲ 42.4	▲ 5.9	▲ 3.9	▲ 18.2

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 27.1	➡ ▲ 35.7	➡ ▲ 9.8	➡ ▲ 13.2	➡ ▲ 26.8
前回	▲ 21.7	▲ 36.4	▲ 3.9	▲ 12.2	▲ 21.3

#### 前回調査とDI値の比較

26.0以上 ↑	25.9~5.1 ➡	5.0~▲5.0 ➡	▲5.1~▲25.9 ➡	▲26.0以下 ↓
-------------	---------------	---------------	-----------------	--------------

※以降の表も同様

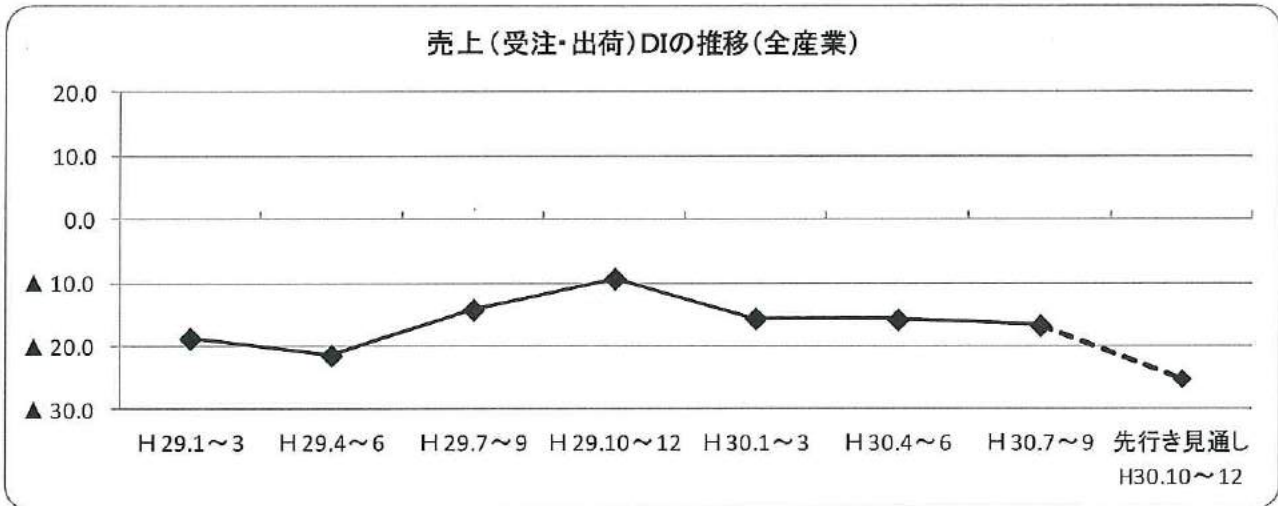
## 【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

○全産業合計の売上DIは▲16.7と、前回(▲15.8)から0.9ポイントの悪化。産業別に見ると卸売業は数値が改善、小売業・建設業は横ばい、製造業・サービス業は悪化した。

向こう3ヵ月（10月～12月）の先行き見通しは、▲25.1と前回(▲21.5)より悪化する見通しとなった。

### ○売上（受注・出荷）DI（前年同期比）の推移 【全産業】

H29.1～3	H29.4～6	H29.7～9	H29.10～12	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	先行き見通し H30.10～12
▲ 18.7	▲ 21.4	▲ 14.2	▲ 9.3	▲ 15.6	▲ 15.8	▲ 16.7	▲ 25.1



### ○売上（受注・出荷）DI（業種別）

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 16.0	➡ ▲ 27.6	➡ ▲ 16.0	➡ ▲ 5.4	➡ ▲ 22.2
前回	▲ 20.8	▲ 45.5	▲ 7.5	▲ 3.8	▲ 13.4

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 41.7	➡ ▲ 34.5	➡ ▲ 15.7	➡ ▲ 21.8	➡ ▲ 19.4
前回	▲ 27.7	▲ 33.3	▲ 11.3	▲ 12.0	▲ 27.0

### 【採算の状況についての判断】

○全産業合計の採算D Iは▲21.9と、前回(▲22.5)から0.6ポイントの改善。産業別に見ると小売業・卸売業は数値が改善、サービス業は横ばい、製造業・建設業は悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲27.8と前回(▲26.3)より悪化する見通しとなった。

#### ○採算D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 21.9	➡ ▲ 14.3	➡ ▲ 31.0	➡ ▲ 21.6	➡ ▲ 14.5	➡ ▲ 29.2
前回	▲ 22.5	▲ 20.8	▲ 45.5	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 32.8

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 27.8	➡ ▲ 34.8	➡ ▲ 39.3	➡ ▲ 17.6	➡ ▲ 25.5	➡ ▲ 27.8
前回	▲ 26.3	▲ 31.9	▲ 39.4	▲ 21.2	▲ 11.8	▲ 31.3

### 【資金繰りの状況についての判断】

○全産業合計の資金繰りD Iは▲11.0と、前回(▲10.0)から1.0ポイントの悪化。産業別に見ると卸売業・製造業・建設業・サービス業は横ばい、小売業は数値が悪化した。

向こう3ヵ月(10月~12月)の先行き見通しは、▲14.7前回(▲10.9)より悪化する見通しとなった。

#### ○資金繰りD I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 11.0	➡ ▲ 22.0	➡ ▲ 10.3	➡ ▲ 2.0	➡ ▲ 5.4	➡ ▲ 14.1
前回	▲ 10.0	▲ 14.9	▲ 12.5	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 15.2

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲ 14.7	➡ ▲ 20.8	➡ ▲ 10.3	➡ ▲ 8.2	➡ ▲ 10.9	➡ ▲ 19.7
前回	▲ 10.9	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 14.3

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

### 【仕入単価の状況についての判断】

○全産業合計の仕入単価DIは▲52.4と、前回(▲45.3)から7.1ポイントの悪化。産業別に見ると製造業は数値が改善、小売業は横ばい、卸売業・建設業・サービス業は悪化した。

向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、▲52.2と前回(▲44.0)より悪化する見通しとなった。

#### ○仕入単価DI(業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲52.4	▲44.0	▲55.2	▲57.1	▲52.7	▲53.8
前回	▲45.3	▲47.9	▲31.3	▲62.3	▲40.7	▲39.7

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲52.2	▲47.9	▲44.8	▲51.0	▲57.4	▲55.2
前回	▲44.0	▲35.4	▲37.5	▲54.7	▲39.2	▲49.1

※DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

### 【従業員の状況についての判断】

○全産業合計の従業員DIは32.1と、前回(33.3)から1.2ポイント人手不足感が弱まった。全産業でほぼ横ばいの数値となった。

向こう3ヵ月(10月～12月)の先行き見通しは、32.5と前回(37.7)より人手不足感が弱まる見通しとなった。

#### ○従業員DI(業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	32.1	26.7	17.2	15.7	49.1	40.3
前回	33.3	27.3	21.2	18.9	49.1	42.4

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	32.5	30.2	20.7	17.6	46.3	38.9
前回	37.7	31.0	24.2	24.5	50.0	50.0

※DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

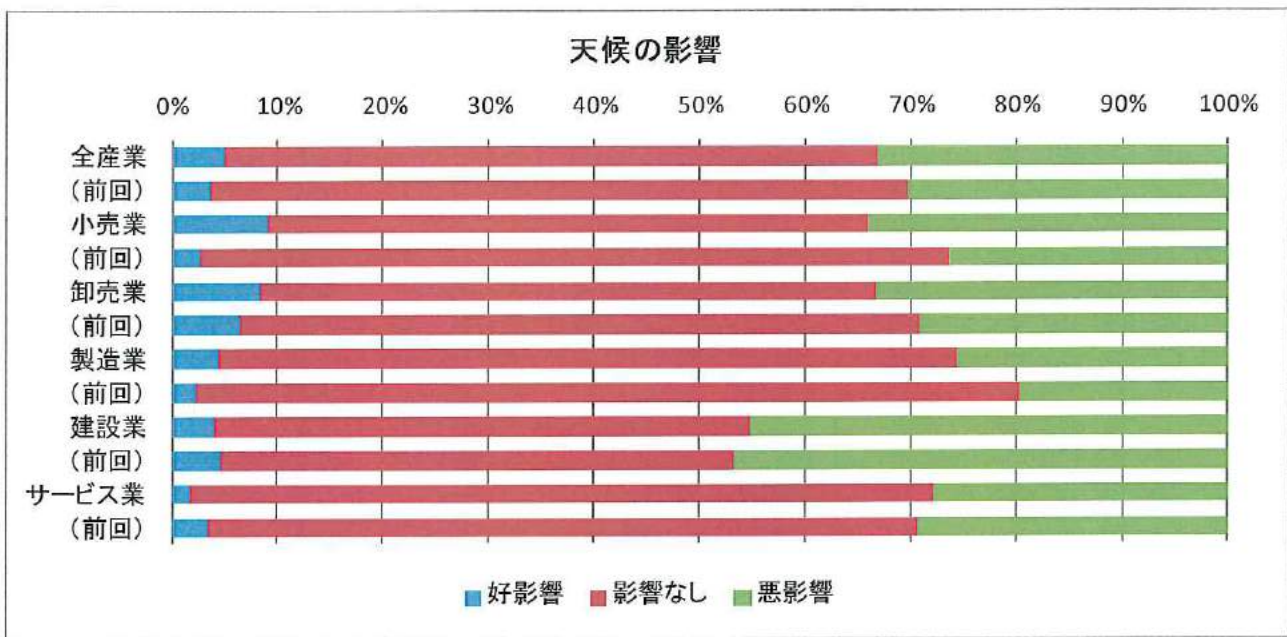
経営環境

【天候の影響】

○天候の影響は、全産業で好影響が4.8%、影響なしが62.1%、悪影響が33.3%の回答となった。産業別に見ると小売業で9.1%が好影響、建設業で45.1%が悪影響と答えた。小売業・卸売業・製造業では前回より好影響の割合が増加した。

○天候の影響（業種別影響割合）

	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービ <span>ス</span>
好 影 響	4.8%	9.1%	8.3%	4.3%	3.9%	1.6%
影 響 な し	62.1%	56.8%	58.3%	70.2%	51.0%	70.5%
悪 影 響	33.0%	34.1%	33.3%	25.5%	45.1%	27.9%



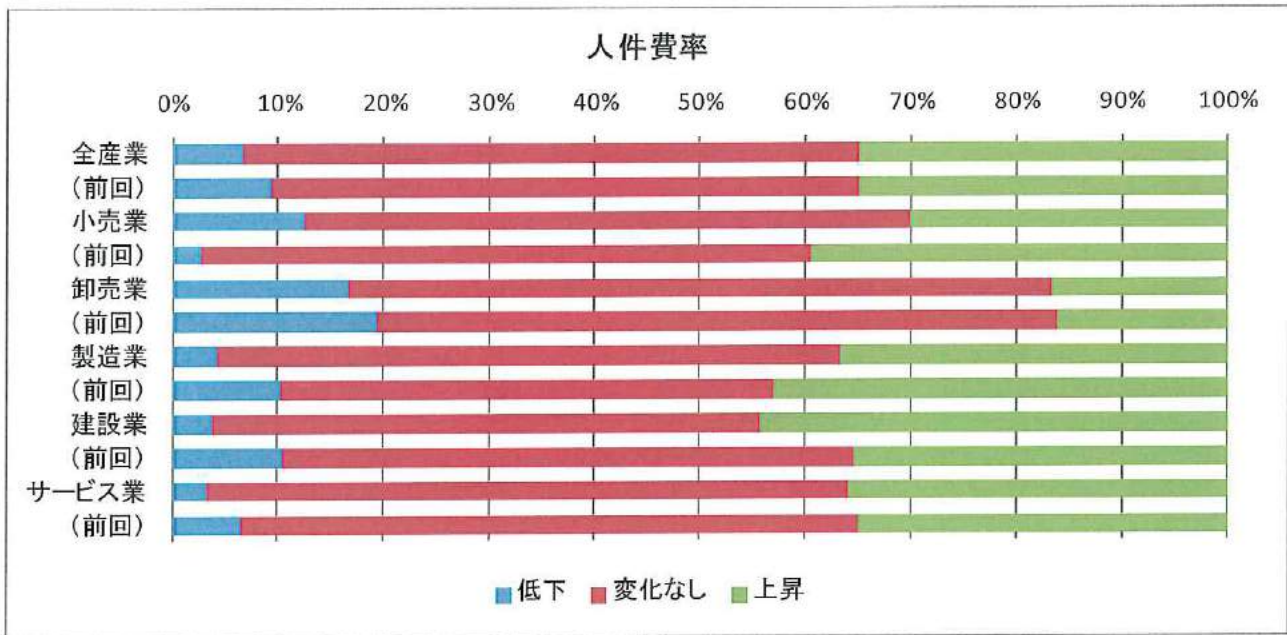
【人件費率】

○人件費率は、上昇が34.9%、変化なしが58.5%、低下が6.6%という回答となった。業種別に見ると建設業の44.2%が上昇、サービス業は3.1%が低下と答えた。前回比で見ると小売業は低下の割合が増加し、建設業では上昇の割合が増加した。

○人件費率（業種別人件費率割合）

	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービ <span>ス</span>
上 昇	34.9%	30.0%	16.7%	36.7%	44.2%	35.9%
変 化 な し	58.5%	57.5%	66.7%	59.2%	51.9%	60.9%
低 下	6.6%	12.5%	16.7%	4.1%	3.8%	3.1%



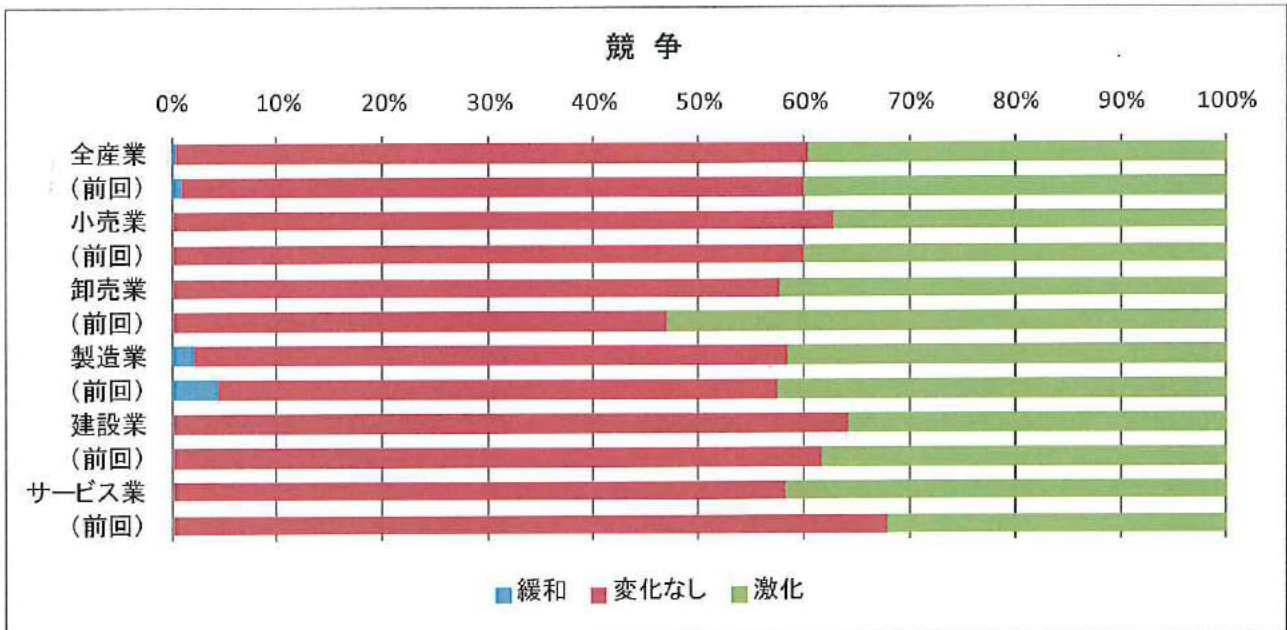


### 【競争】

○競争は緩和が0.4%、変化なしが59.8%、激化が39.7%という回答となった。業種別に見ると製造業のみで緩和2.1%の回答があり、卸売業で42.3%が激化と答えた。前回比で見るとサービス業で激化の回答が増加しており、卸売業では減少した。

○競争（業種別競争状況割合）

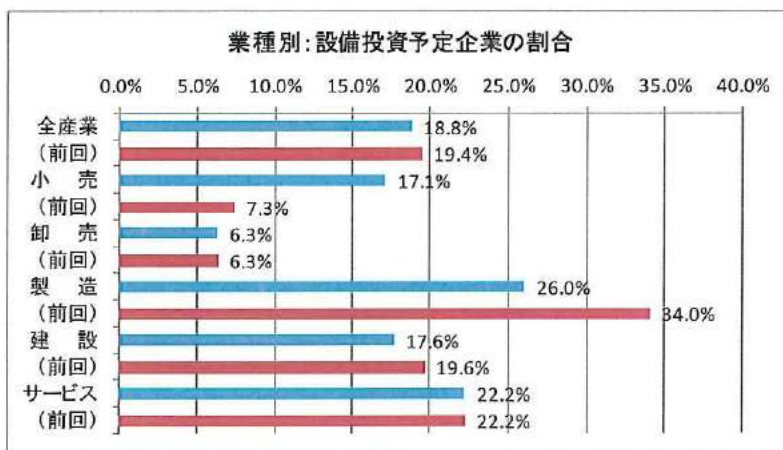
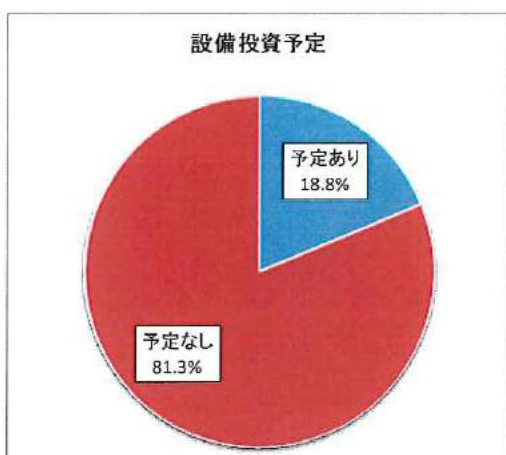
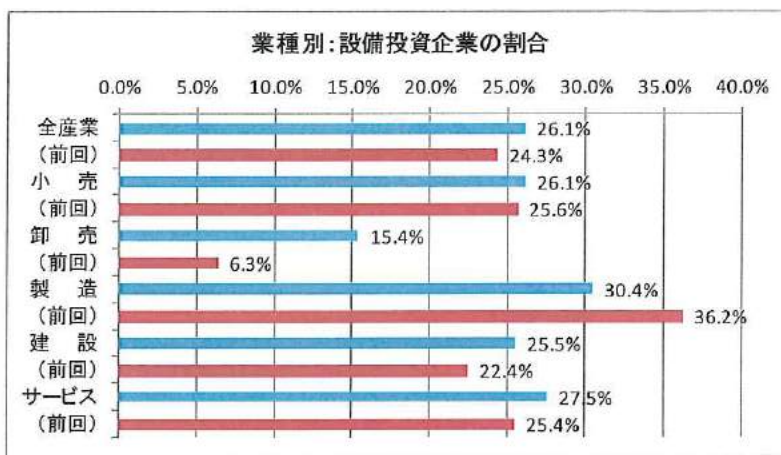
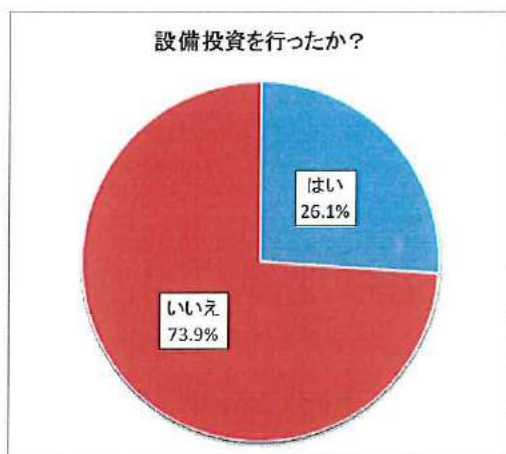
	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
緩和	0.4%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
変化なし	59.8%	62.8%	57.7%	56.3%	64.0%	58.2%
激化	39.7%	37.2%	42.3%	41.7%	36.0%	41.8%



## 【設備投資】

○設備投資は26.1%の事業所で行ったと回答があった。業種別では製造業が30.4%、サービス業が27.5%となった。前回比で見ると卸売業が9.1%増加した。

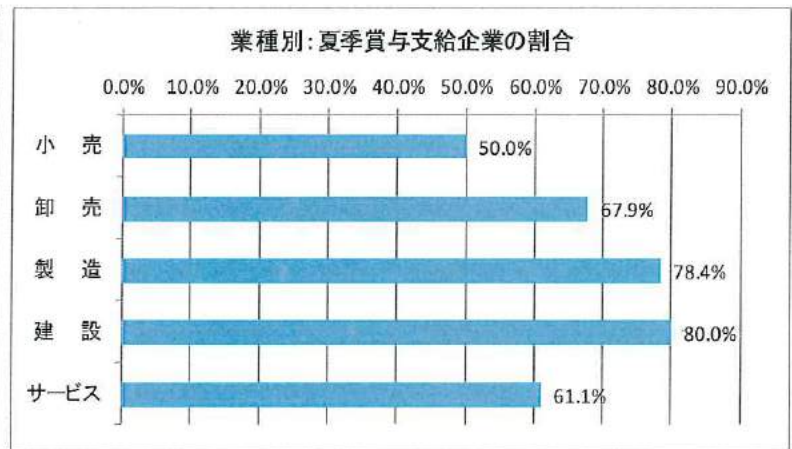
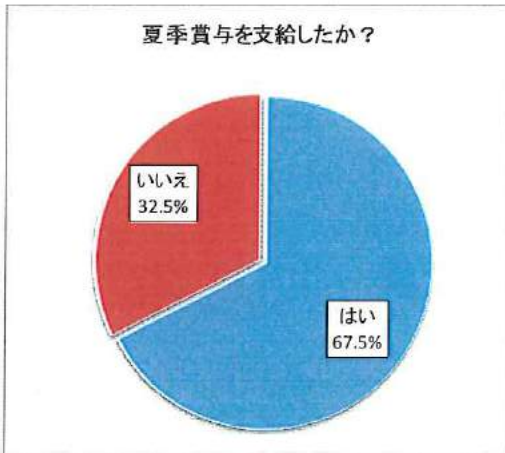
今後設備投資の予定があると答えた事業所は18.8%となった。産業別では製造業が26.0%、サービス業が22.2%となった。前回比で見ると小売業で予定ありと答えた事業所が9.8%増加した。



## 「臨時調査」

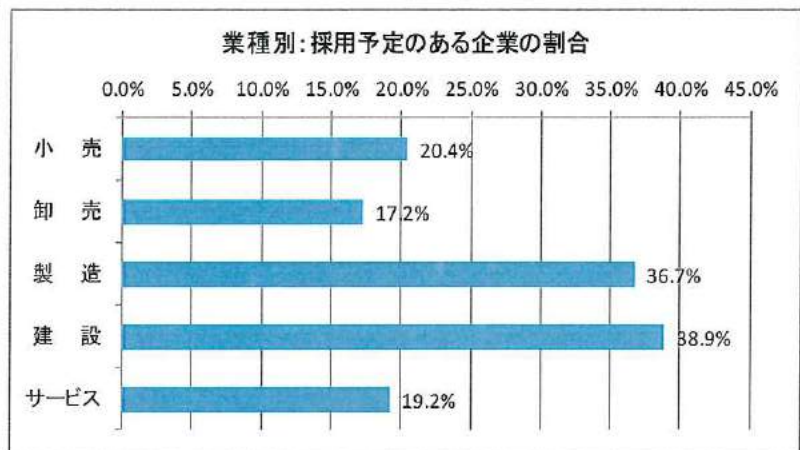
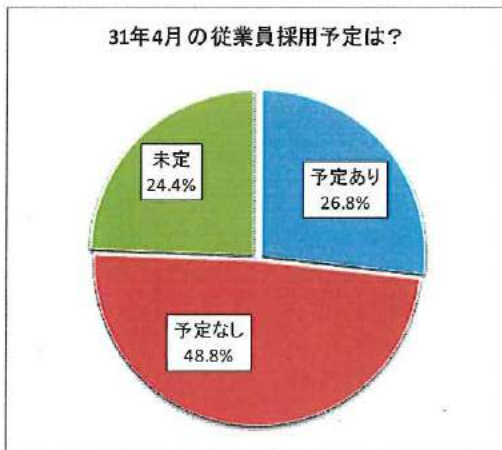
### 【夏季賞与】

○夏季賞与を支給した事業所は 67.5%だった。産業別で見ると建設業は 80.0%、製造業は 78.4%が支給したと答えた。サービス業は 61.1%、小売業は 50.0%に留まった。



### 【31年4月の従業員採用予定】

○従業員の採用予定がありと回答したのは 26.8%、予定なしは 48.8%、未定は 24.4%となった。業種別で見ると建設業は 38.9%、卸売業は 17.2%と差が開く結果となった。



○採用予定があると回答した企業の採用予定数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全産業	17	26	10	2	4	2	7
小売業	3	1	2	1	2	0	1
卸売業	2	2	0	0	0	0	1
製造業	2	9	3	1	1	1	1
建設業	6	9	4	0	1	0	1
サービス業	4	5	1	0	0	1	3

※1~2人を採用予定と回答した場合、2名として集計した。他の範囲回答の場合も最大値で集計

## その他：自由意見

### (小売業)

※最低賃金が3年連続増加し、人件費のアップが今後懸念される。

※猛暑による影響もあり冷房系のパーツの動向が良く、昨年の7~9月より販売上昇に繋がった。

仕入パーツ類は値上がり傾向。

※婦人服を扱っているが、洋服の買い方も多様化し、ファストファッションだけではなくメルカリ等の個人間売買も多くなっている。実店舗でしかできない事、実店舗ならではの魅力を打ち出していないといけない。

※たばこの値上げで売上が減少。

※店に足を運んでくれる人が10年前の1/3くらいになっている。後継者のことを考える時期が来ていると思う。

※消費の低迷が懸念される。

### (卸売業)

※近年の台風は身の危険が伴うほどの猛烈な勢いで日本列島を襲ってくる。台風以外にも極端な暖かさや降雨等、昔に比べると考えられない異常な気象である。真剣に地球環境について考える必要がある。

### (製造業)

※ハローワークや新聞で従業員を募集している。面接希望に2名来たが採用にはいわず、5年後10年後を考えると今から育てなければ一人前の職人として働けないので焦るところである。

※来年の消費税増税に伴い、取引先の来年の生産計画がどうなるか、またその影響からの反動がどうなるのか現時点で予想が立たず、雇用・設備投資の判断に苦慮している。

※原料・送料の大幅な値上げによる利益減少への対策を検討中。

### (建設業)

※特に専門工事業で市の予算が毎年減少しており、今後に不安を感じている。中小企業における人手不足も同様に不安。

※新入社員がおらず、社内は高齢化しつつあり、会社の将来に不安がある。入社しても長続きしない。

※今後仕事が多くなると思われるが、従業員が不足している。

※製造メーカー工場増設、業務拡張で零細企業の人手不足、それによる倒産の増加が大きく報じられるようになってきた。我々に出来ることは地道に地元での営業活動を行うこと。これからは毎月小イベントを企画し実行していく。

※採用予定はあるが、人材がいない。受注にも影響がある。

### (サービス業)

※営業先販路拡大(ネット販売等)の強化に取り組んでいる。